

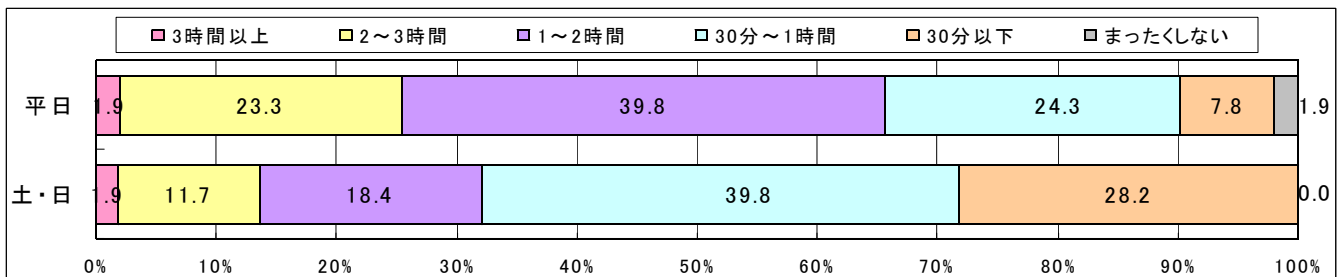
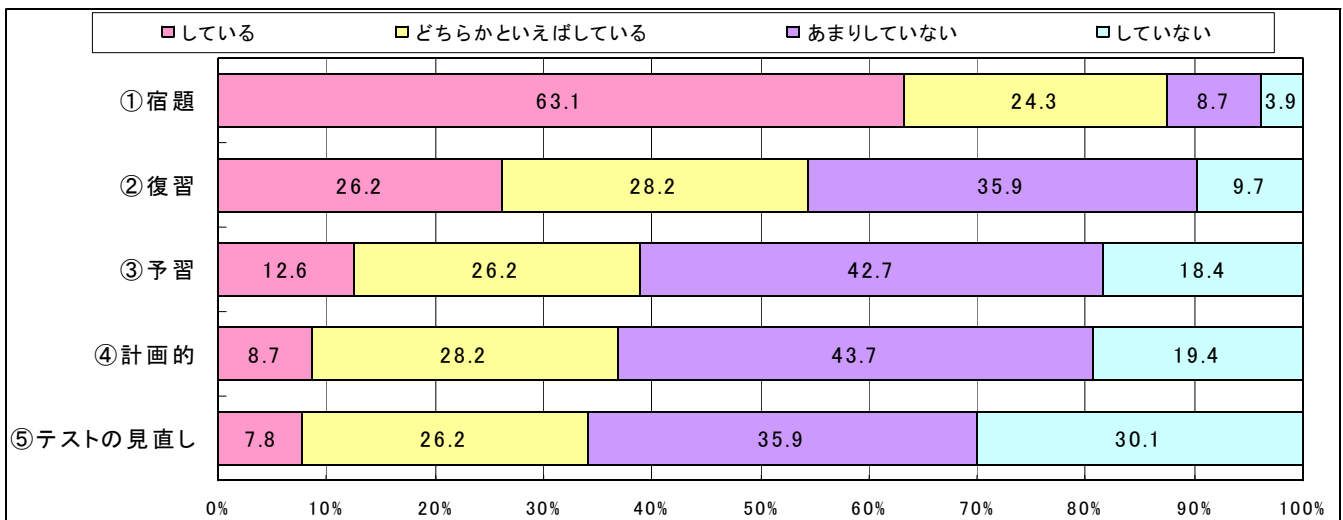


## 最後のテスト

明日から、今年最後の定期テストが始まります。今年1年を締めくくろううえでも、そして、いい年末年始を迎えるためにも、最善を尽くしてください。

さて、下のグラフは、全国学力・学習状況調査（4月21日実施、3年生対象）の「生徒質問紙」の中から、家庭学習に関する項目をまとめたものです。あれからもう半年以上経過しているため、実態は大きく変わっていると思われるかもしれませんが、本校の生徒の実態が浮かび上がってきます。

「①宿題をしていますか」「②復習をしていますか」「③予習をしていますか」は、全国平均より高い一方で、「④自分で計画を立てて勉強をしていますか」「⑤テストで間違えた問題について、あとで勉強していますか」は、全国平均を下回っています。さらに、勉強時間は、全国平均より少ない状況です。つまり、本校生徒は、宿題など与えられた課題には比較的にまじめに取り組むが、学習時間が極端に少ないことや、計画的に学習するなど、主体的に取り組もうとする意識や態度に欠けることに課題があることがわかります。



下の記事からも、勉強時間を工夫している者が、比較的好い成績をあげていることがわかります。テスト期間中は給食もなく、早く帰れます。時間の使い方をもう一度見直してみましょう。

### 時間上手は成績も上位 夕食前の「空き」も勉強に確保

時間を上手に使える子は成績がいい。ベネッセコーポレーションが、全国の小学5年生から高校2年生を対象に放課後の生活時間を調べたところ、成績上位の子は夕食前に勉強時間を確保している割合が高いことが分かった。昨年11月に調査。質問書を2万5716人に郵送し、8017人から回答を得た。

調査によると、中学生の勉強時間は平均126分。成績上位層の142分に対し、下位は99分だった。午後6時に勉強していた下位層は14.8%だが、上位層は27.1%。夕食後だけでなく夕食前にも勉強する様子が見え、小学生や高校生も同様の傾向だった。

ベネッセの担当者は「成績上位の子は勉強時間が長いだけでなく、夕食前の時間などを有効に使う。時間を管理する力を育てることも大切」と話している。（※11月21日 四国新聞から引用）

### ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 再度のご案内 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

■ 三豊市の歌「歌詞」募集……締切：11月30日(月)

■ 養老孟司氏講演会「ひとを育む」……開催日：12月12日(土) 13:30～ マリンウェーブ